



中野市プレスリリース 2026 年 6 月 19 日

寄付（絵画）贈呈式

東北芸術工科大学 副学長・木原正徳^{きはらまさのり}氏から寄贈いただく絵画の贈呈式を行います。

- 1 日 時 6 月 22 日(月) 午前 10 時
- 2 場 所 市民会館ソソラホール ソソラストリート
- 3 寄贈作品 人のかたち野のかたち《光を^{まと}纏う》※別添資料のとおり
(194.0cm×324.0cm 油彩／キャンバス)
- 4 寄 贈 者 木原正徳氏（飯山市出身）
東北芸術工科大学 副学長、教授
二紀会理事

詳しくは、下記担当課へお問い合わせください。

中野市くらしと文化部文化スポーツ振興課文化振興係
（課長）荒井 （担当）宮澤
電話 0269-22-2111（内線 394）
Email : bunshin@city.nakano.nagano.jp



人のかたち野のかたち《光を纏う^{まと}》

【194.0×324.0cm 油彩／キャンバス】

「思考の原点」とか「記憶の原風景」というものがあるとするならば、故郷北信濃の自然は僕にとって明らかにそれでした。音もなく重く降り積もる雪、待ち遠しい春の命、新緑を掠める透き通った風。人も生き物も植物も、全てが自然の一部として等価値であることに気づきます。大気の変化も、さらに言えば季節の移り変わりさえもが等価値であり、その等価値同士が光を纏いながら共鳴という名の対比で成り立っているのです。加速度的に変化し漂白されて行く時代にありながら、画面の鮮度を大切に「自然」にもつれもたれる本来の「ひと」の有りようを色彩豊かにかつ象徴的に描き出したいと願っています。

木原正徳 Masanori Kihara

- 1958 長野県飯山市生まれ 飯山北高等学校卒業
- 1981 武蔵野美術大学／造形学部油絵学科卒業(優秀賞)
- 1986 二紀展《96東京セントラル美術館賞、01安田火災美術財団奨励賞、05田村賞、07宮本賞、18黒田賞、25文部科学大臣賞、他》
- 2000 青木繁記念大賞展《特別賞／わだつみ賞》
- 2003 損保ジャパン美術財団選抜奨励展
- 2008 文化庁／芸術家海外留学特別派遣(イタリア／フィレンツェ)
- 2016 Mutually Overlook(中国／上海・現代芸術センター)
公募展ベストセレクション美術2016(東京都美術館企画)
- 2019 上野アーティストプロジェクト2019(東京都美術館企画) 他、多数

- 個展 飯山市美術館《19》最上川美術館《22》東北芸術工科大学退任記念展《25》
銀座スルガ台画廊《98、00、09、18、20、23》画廊宮坂《11、13》
八十二文化財団ギャラリー82《00》他、多数
- 二紀会理事、東北芸術工科大学教授／副学長(2026年現在)

M. Kihara